

本単元で育む主な情報活用能力

A-STEP3, B-STEP3
D-STEP3, G-STEP3

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・土地のつくりと変化について追究する中で、土地のつくりやでき方についてより妥当な考えをつくり出し表現する。
- ・火山活動や地震による大地の変化と災害とを関係づけて調べ、災害への備えについて考え、学んだことを学習や生活に生かす。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・様々な資料を読み、自分の問いを立てる。
- ・集めた情報をもとに、自分の考えを整理し表現する。

単元における学習の展開（全13時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (1時間)	・大地のつくりや火山活動、地震に関する本を読み、わかったことやこれからの学習で深めたいことを整理する。（☆）
第2次 (8時間)	・大地の地層について調べ、地層の広がりや特徴などを知る。 ・火山灰を観察し、特徴を調べる。 ・火山活動や地震について調べ、大地が変化することを理解する。
第3次 (4時間)	・大地のつくりや火山活動、地震に関する本を読み、より深めたいテーマを設定し、情報を集める。（☆）（本時） ・集めた情報をもとに、友だちに発表したい情報を整理する。（☆） ・自分が設定したテーマをパワーポイントに整理し、発表する。（☆）

本時のねらい

- ・関連図書から大地のつくりと変化についてより詳しく知りたいことを見つけ、自分のテーマを設定し、発表のための情報を集める。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	1. 前時の学習をふりかえる。 ・「地層」「地震」「火山」などこれまでの学習内容をふりかえる。	・図書を活用して自分がより詳しく知りたい内容を見つけ、調べることを伝える。 ・教員がモデルを示し、問いはできるだけ範囲を絞った具体的なものである方がよいことを伝える。
展開 (35分)	2. 関連図書を読み、テーマを設定する。 ・関連図書を読みながら「自分の問い」を持ち、詳しく知りたい内容を探す。 ・「自分の問い」のジャンルごとにグループを作る。 ・グループで自分がたてた問いについて交流する。 3. 設定したテーマに関係する情報を集める。 ・「自分の問い」についての情報を集め、ワークシートに記入する。 ・見つけた情報の中で、友だちの問いに関連するものがあれば伝え合う。	・大地のつくりや地層、地震、火山などに関する図書を使って調べられるようにする。 ・調べてわかったことと自分の考えを区別してまとめるように伝える。
まとめ (5分)	4. 本時の学習をふりかえる。	・図書資料だけでは調べきれなかったことなどは、次回、タブレット端末を活用してもよいことを伝える。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

本単元は導入で関連図書を活用し、「わかったことや調べたいことを考える」学習を行い、単元のまとめでは、関連図書やタブレット端末を活用して「調べたことをまとめる」学習で終わる構成としている。自分の問いを持ち、自分で選択する場面を設定したことで、子どもたちの主体性をより引き出したのではないかと考えている。

単元第3次の関連図書を活用した調べ学習では、自分が調べたことをわかりやすく相手に伝え、相手の学びも深めようという相手意識をもって取り組むことを通じて学びを深めあうことをねらった。相手にわかりやすく伝えるという観点をもつことで、「自分が一番伝えたいことは何か。」「本当に必要な情報は何か。」など、目的に応じて情報を取捨選択することができていた。

また、自分の問いをたてる際にはタブレット端末ではなく図書を用いて調べ始めることで情報を絞ることにつながり、理科が苦手な子ども興味のある分野の本を選び、問いを立てることができていた。



集めた情報を使い、パワーポイントにまとめている様子。